



こうか  
まちかど  
特派員  
のページ

こうか  
まちかど特派員  
ゆぐちみゆき  
柚口美由紀



## 今年も響き渡った和の音色、和の心 ～パワーアップした姿は来年披露～

伝統文化と若さを融合し活発に活動する子ども和太鼓チーム「甲賀忍玉太鼓団」、今回、「和太鼓サウンド夢の森」に向けての練習を密着取材、熱のこもった活動風景をご紹介します。



■抜群のチームワーク

今年もやってきました、和太鼓サウンド夢の森、年々ヒートアップするこのイベント、今年で11回目を迎えます。今年も観客と出演者が一丸となり夏の夜のひとときを過ごす最高の日になるはずだったのが、荒天のため初めての中止という残念な結果になりました。

この日のために練習を積み重ねた出演者の皆さんが続々と雨の中、鹿深夢の森に到着、急ぎよ、出演者同士の交流会が行われました。

今回、結成してから毎年出演されている甲賀忍玉太鼓団の子どもたちに密着してきました。甲賀忍玉太鼓団は小中高生のチームで、学校完全週5日制が実施された平成14年に結成されました。甲賀町を中心に土山町からも参加され現在メンバーは30名になりました。

結成当初は「OSAKA 打打打団 天鼓」の指導の下、曲づくりはもちろん、バチの持ち方や太鼓の代わりに古タイヤをたたき基礎をしっかりと教えてもらったそうです。現在は「小佐治 すいりょう太鼓」のメンバーの指導により週2回練習されています。また、太鼓だけでなく、篠笛や津軽三味線にもチャレンジされています。

今回はデビュー曲である「甲賀忍玉参上！」と昨年10月にできたばかりの「Jump Beat!!」の2曲を演奏される予定でした。

本番前の1週間は毎日3時間の練習で、当日も前夜の練習の疲れを感じさせない元気な声と太鼓の音が響き渡り本番前の練習開始。なんと、忙しい中、Jump Beat を作曲された元OSAKA 打打打団 天鼓の中橋先生もかけつけ、曲の仕上がりを見ていただきました。「顔の表情が硬いぞ」「体をつかっで、手を上げて!」「本番ではもっと大きく」と激励、やることはやった。決めてやる!声がかれるまで声を出してガンパロー!!



■中橋先生の熱血指導を真剣に聞くメンバーの皆さん

持ち時間が決められていて2曲演奏するには2分短縮しないといけないとなりました。そこで指導者の方の一言「Jump Beat はBから入るぞ」「え、これだけの指示で大丈夫なの?」なんと場慣れしているプロ顔負けのチームワーク。リハーサルで見せてもらったため太鼓のソロがなかったのが残念でしたが、すばらしい演奏を聴かせてくれてました。

今回、新しい曲と衣装はたくさんの方の前で披露することはできませんでしたが、来年の夏は更にパワーアップした「甲賀忍玉太鼓団」を待っています。